

会社概要

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名: WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	175名(連結)
連結子会社	和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

役員

代表取締役会長兼社長	和井田 光 生
代表取締役副社長	久 保 朝 義
常務取締役	森 下 博
取締役	洞 口 秀 臣
取締役	藤 井 啓 太
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏及び山下英一氏の両名は、社外取締役であります。
両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式599,349株を含む)
株主数	3,110名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 倅生	430,060	6.68
和井田 光生	426,500	6.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	324,300	5.04
株式会社十六銀行	321,300	4.99
株式会社三菱UFJ銀行	321,000	4.99
和井田 叔子	250,000	3.88
和井田製作所従業員持株会	148,300	2.30
和井田 克子	121,200	1.88
和井田 雅生	120,800	1.87
岐阜信用金庫	110,000	1.71

(注) 持株比率については、自己株式(599,349株)を控除して算出しております。

株式分布状況

○株式数構成比



○株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先 株式会社 和井田製作所 経営企画部
〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020 URL <https://www.waida.co.jp/>



第91期株主通信
(上半期のご報告)

2019年4月1日▶2019年9月30日



上高地(中部山岳国立公園)

ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
第91期上半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の当社グループは、米中貿易摩擦の影響を受けたものの上場来最高収益をあげた前期の勢いを受け、前年同期比で増収増益とした期初計画を概ね達成することができました。下半期も米中貿易摩擦の先行きが見通せない状況が続くものと考えられ、当社の市場環境も厳しさを増すことが予想されます。

このような中、重点施策としております欧米市場攻略や昨年発表したコンセプトマシンの市場投入を進め、業績の維持を図ってまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 和井田 光生

第91期上半期の概況

第91期上半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の当社グループは、前期に国内外の市場環境が好調であったことを受け、期初から高い水準の受注残を抱えてスタートしました。

また、業界全体の需要拡大による主要部品の調達難も今期に入りある程度が目途がついたことや、期初から受注が堅調に推移したことから、概ね開示した計画通りに進捗しました。

この結果、売上高は4,118百万円、経常利益は1,024百万円、当期純利益は711百万円を計上し、前年同期比で増収増益となりました。

第91期の見通し

第91期下半期（2019年10月1日から2020年3月31日まで）の当社業績につきましては、米中の貿易摩擦や欧州のBrexit問題などの影響により市況が弱含むことを期初の段階で計画に織り込み済みであり、現時点における市場環境は概ね想定の範囲内で推移しております。

今後の米中や欧州の動向によっては、減速傾向が長期化する懸念がある一方、底を打ち市況が好転する可能性もあります。いずれの場合においても柔軟に対応できるよう製販の連携を強化し、適正在庫の維持に努めてまいります。

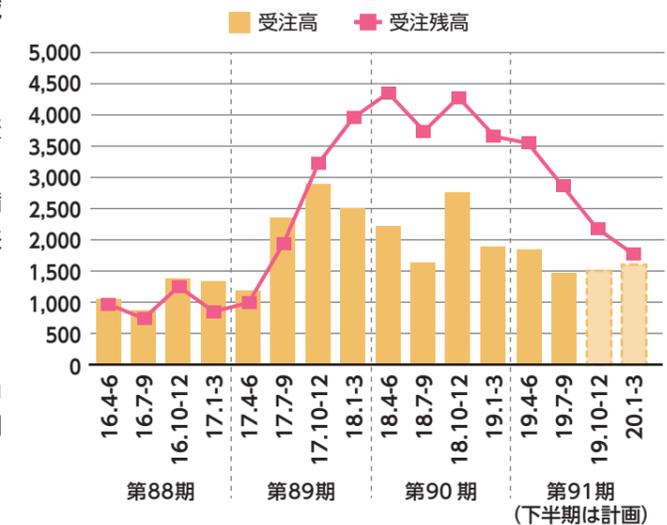
経営課題である欧米市場攻略につきましては、長年の取り組みにより欧米ともに前期にまとまった台数を販売する

ことができました。今期はユーザー側の設備投資サイクルの谷間にあたることから、欧米向けの売上は前期に比べ減少の見通しですが、顧客との関係を強化すべく引き続き営業活動を積極的に展開しております。

また、JIMTOF2018（日本国際工作機械見本市）で発表したコンセプトマシンのうち、UJG-35iとSPG-Xの2機種を既に市場投入しております。新機種の市場投入により設備の更新需要を喚起し今期業績の底上げを図るとともに、来期に向けた受注確保に努めてまいります。

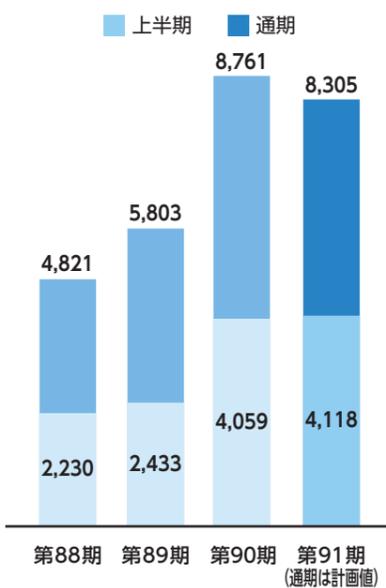
以上の状況をふまえ期初に開示した計画を継続し、第91期通期の売上高は8,305百万円、経常利益は1,759百万円、当期純利益は1,224百万円となる見通しです。また、配当金につきましては期初に計画しましたとおり、第91期中間配当金は1株につき25円、第91期期末配当金は1株につき25円（年間では50円）を予定しております。

受注高・受注残高の推移（単位：百万円）

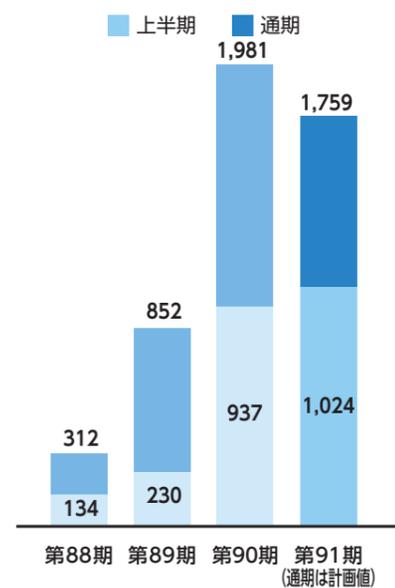


業績ハイライト

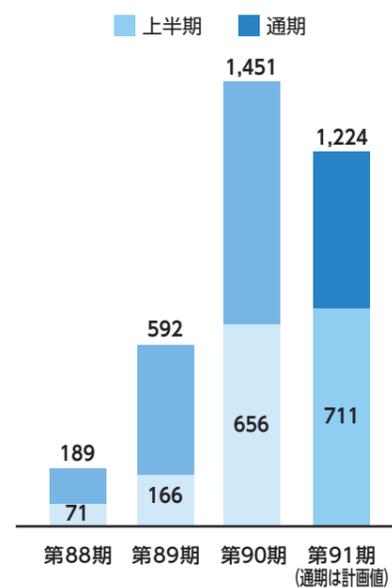
売上高（単位：百万円）



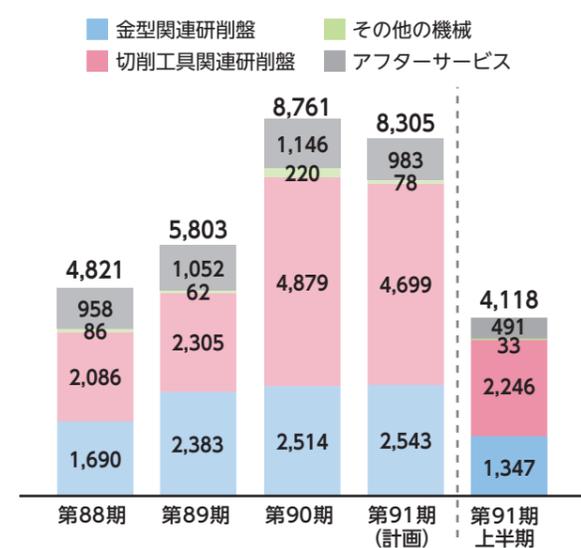
経常利益（単位：百万円）



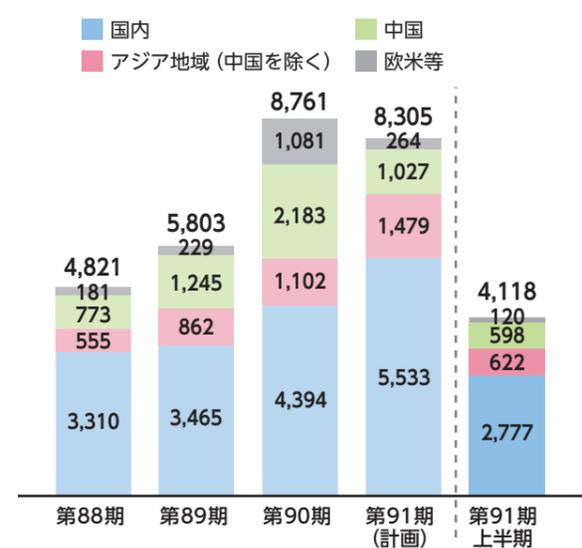
当期純利益（単位：百万円）



品目別売上高（単位：百万円）



地域別売上高（最終据付地にて集計）（単位：百万円）



トピックス

機械工業デザイン賞を受賞いたしました

昨年販売を開始しました新機種「インテリジェントジグ研削盤 UJG-35i」が、第49回機械工業デザイン賞（主催：日刊工業新聞社、後援：経済産業省）の日本商工会議所会頭賞を受賞いたしました。

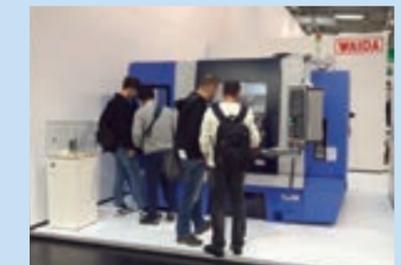
これは当製品がスキルレス操作を可能にしたインターフェースソフトを搭載し高精度加工を実現した点が評価されたものであります。引き続き市場のニーズにあった高付加価値製品の開発を進めてまいります。



EMO Hannover 2019に出展いたしました

2019年9月16日（月）～ 21日（土）にドイツのハノーバーで開催された「EMO Hannover 2019（欧州国際工作機械見本市）」に出展いたしました。APX-105を出展し、ご来場いただきましたお客様に高い関心を持っていただくことができました。

今後もHaas社との協業のもと欧州地域での営業展開を積極的に進めてまいります。



新製品 SPG-Xを市場投入いたしました

昨年11月の「JIMTOF2018（日本国際工作機械見本市）」にコンセプトマシンとして発表したプロファイル研削盤 SPG-Xを市場投入いたしました。

当製品は、豊富なオプションによりお客様の幅広いニーズに対応するとともに、オリジナル加工ソフトや新型LED透過照明により操作性と視認性を向上したプロファイル研削盤の新たな標準機であります。お客様からの反応も良い感触を得ており、受注拡大に向けて積極的に取り組んでまいります。



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

※ 本株主通信では「親会社株主に帰属する当期純利益」および「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「当期純利益」として表示しております。